学校番号 094

目 指 す 学 校 像 | 笑顔があふれる学校 きれいな学校 安全な学校 信頼される学校

重点目標

- 1 「できた」「わかった」喜びを味わえる授業実践と地域の教育資源を生かしたSDG s 教育の推進
- 2 安全・安心な学校づくりに向け、豊かな心と健やかな体の育成と設備・施設の適切な管理
- 3 学校運営協議会と協働し、地域・保護者と一体となった学校運営の推進
- 4 教職員一人ひとりの業務遂行能力向上を図る研修と環境の充実

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、 方策の評価指標」を設定。

達	Α	ほぼ達成	(8割以上)	
成	В	概ね達成	(6割以上)	
度	U	変化の兆し	(4割以上)	
	D	不十分	(4割未満)	

	学 校 自 己 評 価					学校運営協議会による評価	
	年	度	目標		年 度 評	価	実施日令和 年 月 日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況 達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査では、国語、算数ともに全国、市平均を下回っている。 ○さいたま市学習状況調査の生活習慣に関する調査の質問「国語の授業内容はよく分かりますか。」で肯定的な回答の割合が市よりも下回っている。 ○日頃の学習の様子から、基礎的・基本的事項が身についていない児童が多い。 〈課題〉 ○全国学力・学習状況調査の結果分析より、国語は「読む」「書く」力、算数は基礎基本の徹底が必要である。 ○国語や算数において、基礎的・基本的事項を身に付けていくことが課題である。	「できた」「わ かった」喜び を味ま践 地域の教育 育 を生か SDG s 教育の推 進	①スタディサプリ、ドリルパークを活用し個に応じた学習の習熟を図る。②朝学習の時間を計画的に有効に使い、国語の読解力と算数の基礎基本を身に付けさせる。③校務用端末を活用し担任が個々の成績データベースを策を個人面談等で保護者に情報と供する。④タブレット端末等を使用した調べ学習を推進し、プレゼンテーションを作成・活用した授業を実践する。⑤算数の授業を中心にSAを配置し少人数指導または個別指導を実施する。	①スタディサプリ、ドリルパークを授業や家庭学習で活用できたか。 ②朝の学習の時間に、国語や算数の基礎的・基本的事項の定着を図る教育計画が実践されたか。 ③校務用端末で児童の成績管理を適切に行い、個人面談等で課題や具体的な方策を伝えることができたか。 ④年間に1回以上、タブレット端末を使った授業を公開したか。 ⑤算数科における少人数指導、ティームティーチングを実施し、知識・技能に関する正答率を70%以上とする。 ①学校評価(保護者)「学校では~体験したりする授業を行っている」項目の肯定的な回答の割合が80%以上とな			
2	(現状) ○全国学力・学習状況調査の結果の生活習慣に関する調査の「人が困っているときは進んで助けている」や「学校に行くのは楽しい」で市の平均を大きく上回っている。 ○昨年度の保護者の、施設・設備の安全に配慮している」「児童が落ち着いで肯習・生活でが、約9割であった。 《課題〉 今年度は特別支援学級が設置されず、特別な配慮を要する児童に対するさも変形必要である。 ○施設・設備の老朽化が進み、計画的な修繕・保守が必要である。	豊かな心と健やかな体の育成 適切な設備・施設の管理	 ①「心を潤す4つの言葉」を意識させ、規律ある態度を育成する。 ②「いのちの支え合い」を学ぶ授業や道徳教育を中心に、命の尊さ・思いやりの心・規範意識等について自分の事として向き合い考えを深める。 ③食育を推進し、地元食材を使った給食の提供をする。 ①す会点検の確認と修繕の即時対応の確認をする。 ②清掃活動を充実させ廊下や教室に余計な物がない状態を維持する。 ③「人権の花運動」でプランターを整備し校庭を花いっぱいにし、明るい環境をつくる。 ④家庭科の教材・教具を中心に安全安心で最新のものに更新する。 	ったか。 ①学校評価(児童)「進んであいさつをしている」項目の肯定的な回答の割合が90%以上であったか。 ②学校評価(児童)「友達を思いやり仲良く助け合っている」項目の肯定的な回答の割合が90%以上であったか。 ③給食回数の1/3で地元食材を提供できたか。 ①学校評価(保護者)「学校では~施設・設備の安全に配慮している」項目の肯定的な回答の割合が80%以上となったか。 ②教職員による評価「清掃活動を徹底し、清潔で整頓された教育環境を維持している」項目の肯定的な回答の割合が80%以上となったか。 ③季節ごとに校庭の花草が植え替えられているか。 ④家庭科の教材・教具が最新のものになっているか。			
3	(現状〉 ○昨年度、学校運営協議会準備委員会において、意識の職成等)を共有し、本年度の学校経営方針に取り入れた。《課題〉 ○学校運営協議会準備委員会で共有した指導項目を地域・取り扱れた。《課題〉・ ○学校運営協議会準備委員会で共有した指導項目を地域・取り組織会に保護者の意見をさらを受けるなって関協議会に保護者(現在1名)を正といる。学校運営協議会の熟議の進行の仕方を工夫し、と対関学なる。「要は、この教職員一人ひとりが ICT を研修、活用してきるようにできるようにできるようにできるようにできるように対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	重点指導項目の 周知と継続 教育活動の推進 教職員一人が行る りが向上環境の充実	をもとに協働活動を行う。 第1回 地域で育てたい力等について 第2回 地域で育てたい力の実現に向け た方策について 第3回 基本方針の確認と次年度の学校 経営方針案の仮承認 ②地域や保護者へ教育活動の情報発信を 学校安心メールや HP、teams や foams を活用してデジタル化し確実に情報共 有する	①学校運営協議会を年3回実施し、委員とともに学校運営について十分な協議ができたか。 ②学校評価(保護者)「各種たよりやホームページ、学校安心メール等で積極的に情報を提供している」項目の肯定的な回答の割合が80%以上となったか。 ②教職員による評価「共通理解を心がけ、指導している」項目の肯定的な回答の割合が80%以上となったか。 ③教職員による評価「研究授業を通して、指導力が向上した」項目の肯定的な回答の割合が80%以上となったか。			